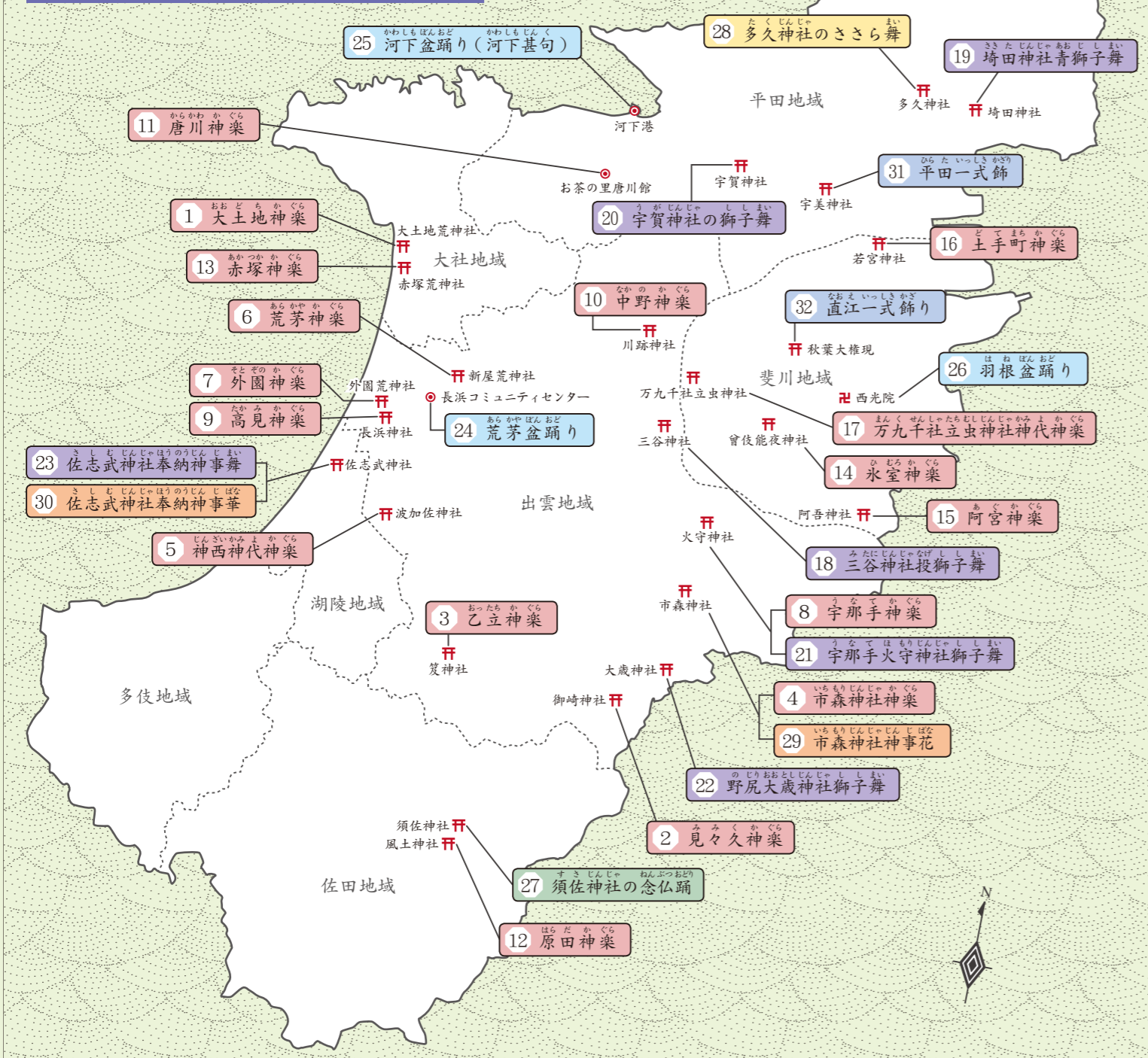


# 無形文化財保持団体分布図



# 出雲の伝統芸能

— 出雲市無形文化財 —

古くより出雲国には多くの神話が伝えられ、神楽や獅子舞など神話を基にした神事や伝統芸能が神々に奉納されてきました。その技と心は悠久の時を経て今に息づいています。これら出雲の伝統芸能は各地域に残る貴重な宝として国、県、市の無形民俗文化財に指定され、先人から受け継いだ出雲の魅力と素晴らしさを次世代へと継承していきます。



出雲神楽



獅子舞



ささら舞



盆踊り



神事花



一式飾り



念仏踊り

種類	地域	No.	指定	名称
出雲神楽	大社	1	国	大土地神楽
		2	県	見々久神楽
	出雲	3	市	乙立神楽
		4	市	市森神社神楽
		5	市	神西神代神楽
		6	市	荒茅神楽
		7	市	外園神楽
		8	市	宇那手神楽
		9	市	高見神楽
		10	市	中野神楽
		11	市	唐川神楽
		12	市	原田神楽
	斐川	13	市	赤塚神楽
		14	市	氷室神楽
		15	市	阿宮神楽
		16	市	土手町神楽
		17	市	万九千社立虫神社神代神楽

種類	地域	No.	指定	名称
獅子舞	出雲	18	県	三谷神社投獅子舞
		19	県	埴田神社青獅子舞
	平田	20	県	宇賀神社の獅子舞
		21	市	宇那手火守神社獅子舞
		22	市	野尻大蔵神社獅子舞
盆踊り	出雲	24	市	荒茅盆踊り
	平田	25	市	河下盆踊り(河下甚句)
念仏踊り	湖陵	23	市	佐志武神社奉納神事舞
	佐田	27	県	須佐神社の念仏踊
ささら舞	出雲	24	市	荒茅盆踊り
	平田	25	市	河下盆踊り(河下甚句)
神事花	斐川	26	市	羽根盆踊り
	平田	28	県	多久神社のささら舞
一式飾り	出雲	29	市	市森神社神事花
	湖陵	30	市	佐志武神社奉納神事華

出雲市無形文化財連絡協議会 (出雲市文化財課)  
 お問い合わせ 〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760  
 TEL 0853-21-6893 FAX 0853-21-6617

# 出雲神楽

多くの神話の物語を今に伝え継ぐ出雲神楽。

- 素面のまま、手に採物を持って舞う舞が前段にかためられ「七座」と総称されていること。
- 「七座」に続いて、祝福を意図する儀式的な舞の「式三番」があること。
- 後段に、神話や縁起などを素材にした着面による演劇舞が続き、概ね「神能」と称されていること。

これらの点が出雲神楽に共通する基本的な特徴とされており、市内各地に数多くの神楽が継承されています。



見々久神楽「山の神」

# 盆踊り



河下盆踊り



荒茅盆踊り



須佐神社の念仏踊り

盆踊りは、各地で祈願のために行われた念仏踊りが起源であるといわれ、それぞれの歌詞や踊りのなかには、鎌倉時代末期に隠岐国に流された後醍醐天皇や、戦国時代の城主などそれぞれの土地にちなんだものが多く残っています。

盆踊りは古来から民衆のくらし、伝統、風習などを色濃く反映しており、各地の夏祭りでは、毎年子どもからお年寄りまで賑やかに歌い踊られています。



羽根盆踊り

佐田町の須佐神社で古くから行われている念仏踊りは、仏教の念仏と農耕儀礼の田楽が一緒になったもので、歌舞伎の始祖とされている出雲阿国が、京都の四条河原で踊った「念仏踊り」の原型とも言われています。

笛や太鼓に合わせて浴衣の着流しに花笠を被った踊り手がお経のような文言を唱えて踊ります。

## 七座



荒茅神楽「剣舞」



外園神楽「八乙女」

## 式三番



宇那手神楽「三番叟」

## 神能



大土地神楽「野見宿禰」



氷室神楽「日御碕」



唐川神楽「素盞」



阿宮神楽「八戸」

# ささら舞



多久神社のささら舞

多久神社で奉納されるささら舞は、およそ500年前に近江国の松本村から船に乗って多久地方に移住してきた松本一族が、大波小波を乗り越えた船旅の苦難をしのいで始めたものが起源と伝えられています。

杉板をすだれ状につないだ「ささら」で波のような音を出しながら舞う、田楽の流れをくむ舞です。

# 獅子舞

少なくとも300年前から伝わる獅子舞は、神社の芸能神事として市内各地に多く伝えられています。

伊勢流の特徴を持つ獅子舞のほか、出雲地方に古くから伝わる「投げ獅子」と言われる獅子頭を投げつけるように舞う三谷神社投獅子舞や、獅子頭が青黒く塗られている埴田神社青獅子舞など、田楽系の流れをくむ出雲地方独特の素朴で古い形態も現在まで継承されています。



埴田神社青獅子舞「ささら舞」



三谷神社投獅子舞



宇那手火守神社獅子舞



野尻大蔵神社獅子舞



佐志武神社奉納神事舞

# 神事花



市森神社神事花



佐志武神社奉納神事華

神事花は、芯となる柱に竹を枝垂れ桜のように垂らし、色とりどりの紙花をつけた花笠で、大きなものでは高さ5メートル、重さ200キログラムにもなります。

作成された神事花は、木遣り唄を歌いながら笛や太鼓のお囃子に合わせて神社までの道を練り歩き、五穀豊穡や無病息災などを願って奉納されます。

神社に奉納された神事花は、切り分けられたり、取り合ったりした紙花を氏子が自宅に持ち帰り、床の間に飾って氏神様のご加護をいただきます。

# 一式飾り



直江一式飾り「決戦川中島」



平田一式飾 自転車部品一式「海老」

一式飾りは、身近な生活用具である陶器、金物、茶器等を組み合わせ、歴史上の人物やおとぎ話などの一場面を独特な発想と技巧を凝らして飾る独特の民俗芸術です。

市内には平田一式飾と直江一式飾りがあり、立てて飾ったり、吊って飾ったりとそれぞれに特色があります。いずれもその豪快かつ優美な作品は見る人を魅了します。